

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	市民協働推進事業			事務事業コード	51010100
概要	市民との協働の推進				
総合計画	基本施策	1	市民参加と協働によるまちづくり	主担当部課名	市民協働推進部 協働共創推進課
	施策	101	多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成25年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	市民協働の推進に関する基本方針				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市民（自治会・町内会、市民活動団体、NPO、教育機関、事業者等の多様な主体を含む）				
事業目標	地域を構成する多様な主体が、まちづくりの方向性を共有し、共通する課題の解決や社会的な目的の実現に向けて、公益的な価値を相乗的に生み出す協働によるまちづくりを進めるとともに、新たな価値を共に創り上げることに積極的に取り組む。				
事業内容	市民協働を推進し、新たな価値を共に創出するため、市民協働に関する情報発信・啓発、提案型協働事業の募集・選定・評価、企業・大学等との包括連携協定締結、各種連携事業の伴走支援、市民協働推進会議の運営、市民協働に関する職員研修等を行うとともに、市民活動センターと連携し、多様な主体による協働のコーディネート機能の充実を図る。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 市と各活動団体が協働実施している事業数	181	計画値	184	187	190	193	193	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	195	194	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	継続実施事業が多数あるほか、企業や学校との連携のコーディネートや共創の窓口を通じて実施に至った事業も加わったことで計画値を達成した。														
② 協働のコーディネーターの育成数	42	計画値	52	57	62	67	72	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	71	82	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
要因の具体的内容	育成講座では実践的な講義や受講者同士のつながりを通じ、課題を可視化することで修了後の活動をイメージすることができた。														

(※)要因の種類

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	10,335,000	12,826,000	14,212,000	21,425,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	3,500,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	24,000	0	0	4,000,000	0	0
一般財源	10,311,000	12,826,000	10,712,000	17,425,000	0	0
予算現額	22,335,000	12,826,000	13,983,000	0	0	0
決算額	18,687,430	10,496,699	4,760,575	0	0	0
国庫支出金	10,900,000	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,787,430	10,496,699	4,760,575	0	0	0
執行率	83.7%	81.8%	34.0%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	3.60	4.90	5.90			
職員人件費	28,205,305	39,586,243	47,076,047			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	11,120,481	152,156	272,028			
総コスト	58,013,216	50,235,098	52,108,650	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民協働推進会議 4回開催 (ほか1部会 2回開催)</li> <li>■市民協働及び共創に関する職員研修 延べ265人参加</li> <li>■提案型協働事業 行政提案2事業、市民提案3事業実施</li> <li>■小学生向け啓発冊子「府中のまちクリエイターノート2」2,300部配付、モデル校3校での特別授業実施</li> <li>■地域課題解決プラットフォーム「みんぷら」 延309人参加</li> <li>■コーディネーター養成講座 14回開催、延150人参加</li> </ul>	<p>▽提案型協働事業は人件費を対象経費とするとともに、事業者からの提案も積極的に受け付けることができるよう改善を行った。</p> <p>▽みんぷらはソーシャルビジネス講座やコレクティブインパクトワークショップの開催、HPのリニューアルなどを行い多様な層の関係づくりを促すとともに、運営の自立化に向けて調整した。</p> <p>▽コーディネーター養成講座の過去の修了生が報告会に参加し、交流促進と相互支援の場を提供できた。</p> <p>▽新たに「共創の窓口」を設置し、行政課題を提示するとともに民間からの提案を受け付け、市と民間との共創を促した。</p>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■コーディネーター養成講座 7回開催予定</li> <li>■市民協働推進会議 4回開催 (ほか1部会 1回開催)</li> <li>■市民協働に関する職員研修実施</li> <li>■行政提案型協働事業 1事業応募 2事業実施 (内1事業は2年目事業)</li> <li>■市民提案型協働事業 2事業応募 3事業実施 (内1事業は2年目事業)</li> <li>■小学生向け啓発冊子配付、小学校での特別授業実施</li> <li>■価値共創促進事業 実施</li> </ul>	<p>▽コーディネーター養成講座のカリキュラム構成を見直し、実践につなげることを目指す。</p> <p>▽みんぷらが自立して運営できるよう、引き続き協議・支援を行う。</p> <p>▽引き続き「共創の窓口」を実施するとともに、価値共創促進事業を新たに実施し、市と民間の共創を一層促すことで市民生活の向上を図る。</p> <p>▽提案型協働事業は価値共創促進事業と統合し、運用していく。</p>

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>■コーディネーター養成講座 延べ12回開催、91人参加</li> <li>■市民協働推進会議 4回開催 (ほか1部会 1回開催)</li> <li>■市民協働に関する職員研修 5回実施</li> <li>■行政提案型協働事業 1事業実施 (2年目事業)</li> <li>■市民提案型協働事業 3事業実施 (内1事業は2年目事業)</li> <li>■小学生向け啓発冊子配付、小学校での特別授業 5回実施</li> <li>■価値共創促進事業 4事業応募 2事業実施 1事業実施辞退</li> </ul>	<p>▽コーディネーター養成講座では、希望者に対してはカリキュラムの途中でコーディネーター業務を実践できる場を設け、意欲に応えることができた。</p> <p>▽市民協働推進会議では、前年度に実施した協働事業に対する評価や取組の進捗状況の確認のほか、市民協働に関する条例の制定について審議した。</p> <p>▽みんぷらは昨年度、市の協力のみで事業者が主体となって運営を実施した。</p> <p>▽「共創の窓口」には51件の提案があり、「価値共創促進事業」では2事業新規事業を実施し、共創の推進を図った。</p>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■コーディネーター養成講座 7回開催予定</li> <li>■市民協働推進会議 4回開催 (ほか1部会 2回開催)</li> <li>■市民協働に関する職員研修実施</li> <li>■小学生向け啓発冊子配付、小学校での特別授業実施</li> <li>■価値共創促進事業の実施</li> <li>■子ども向け社会貢献活動体験イベント奨励金の実施</li> <li>■クラウドファンディング型ふるさと納税活用公益活動支援事業補助金の実施</li> </ul>	<p>▽コーディネーター養成講座を実施する。</p> <p>▽みんぷらが自立して持続可能な運営ができるよう、引き続き協議・支援を行う。</p> <p>▽引き続き「共創の窓口」、「価値共創促進事業」を実施し、民間と市との伴走支援を継続し、協働・共創の推進を促す。また、「価値共創促進事業」はより市民意見を反映させるため、審査方法を変更する。</p> <p>▽新しく子ども向け社会貢献活動体験イベント奨励金を実施し、将来の社会貢献活動の担いづくりを支援する。</p> <p>▽新しくクラウドファンディング型ふるさと納税活用公益活動支援事業補助金を実施し、市民同士の協働を推進する。</p>

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	A	市民及び市職員が、より一層協働の意義や必要性を理解し、積極的に協働の取組を推進していくことで、地域の課題解決に向けた取組を推進する。 また、社会情勢の変化に柔軟に対応するため、新たな魅力や価値を共に創りあげることに取り組んでいく。 具体的には、引き続き「共創の窓口」及び価値共創促進事業を実施するほか、新たに、子ども向け社会貢献活動体験イベント奨励金や、クラウドファンディング型ふるさと納税活用公益活動支援事業補助金を開始し、より一層の市民協働の推進を促すことで市民生活の向上を図る。
B 現状のまま継続		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</li> <li>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</li> <li>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</li> </ol>		
C 見直して継続	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 見直し・縮小</li> <li>2 他事業との整理・統合</li> </ol>	
D 休止・廃止等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 休止</li> <li>2 廃止</li> <li>3 完了</li> </ol>	

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	30	0147600	SDGs普及啓発事業費	499,000	108,431	550,000
2	01	10	05	50	0025100	市民協働推進会議運営費	603,000	384,932	570,000
3	01	10	05	50	0025700	市民協働推進事業費	11,659,000	3,210,878	16,305,000
4	01	10	05	50	0080500	補助金 市民提案型協働事業費	1,451,000	1,056,334	
5	01	10	05	50	0080600	補助金 ふるさと納税クラウドファンディング活用型公益活動支援事業費			4,000,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							14,212,000	4,760,575	21,425,000

# 事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	市民活動センター管理運営事業			事務事業コード	51010200
概要	市民活動・市民協働の推進、市民活動センターの管理運営				
総合計画	基本施策	1	市民参加と協働によるまちづくり	主担当部課名	市民協働推進部 協働共創推進課
	施策	101	多様な主体による地域貢献活動の促進と市民協働の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成14年度～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市市民活動センター条例府中市市民活動センター条例施行規則				
国土強靱化地域計画	該当あり	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	なし
対象	市民、市民活動団体、ソーシャルビジネス実施者等				
事業目標	市民主体のまちづくりを形成するため、市民活動・市民協働の活性化を図る。				
事業内容	市民活動団体の活動拠点となる市民活動センターを運営し、市民活動や市民協働等に関する情報提供（助成金情報、団体活動情報、市民活動ポータルサイト「プラnet」を活用した情報発信等）、相談・啓発事業等の実施（NPO法人設立・運営相談、ソーシャルビジネス起業・運営相談、市民協働まつりの実施、市内イベントにおける啓発ブースの設置等）、及び団体間のネットワークの構築（団体同士の交流会の実施、団体と企業・学校・地域団体・関係機関とのマッチング等）などを行う。市民活動に関する中核的な中間支援組織として、多様な主体の連携を促すとともに、市内の各主体が中間支援機能を果たせるよう連携・情報共有を行う。				

## 2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 市民活動センターがコーディネートし、各主体が新たに協働で実施した事業数	件	計画値	24	24	24	24	1	2	3	4	5	6	7	8
	実績	29	31	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	市民活動センターではコーディネートの相談に対し、多様な主体が強みを生かして社会課題の解決に取り組めるよう具体的な指針に努め、計画値を達成した。													
② ソーシャルビジネスの立ち上げ件数	件	計画値	19	24	29	34	1	2	3	4	5	6	7	8
	実績	21	24	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	市民活動センターのソーシャルビジネスラボでは起業支援や会員同士の交流を図りラボの機能の活性化に努め、計画値を達成した。													

- (※) 要因の類型
- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した              | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った        |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った      | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった   |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った      | 8 その他                            |

## 3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

## 4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	310,388,000	277,026,000	281,646,000	289,656,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	599,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	53,755,000	0	42,030,000	10,000,000	0	0
一般財源	256,633,000	277,026,000	239,616,000	279,057,000	0	0
予算現額	316,388,000	288,426,000	281,875,000	0	0	0
決算額	303,060,740	275,959,638	278,770,306	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	49,873,000	0	0	0	0	0
一般財源	253,187,740	275,959,638	278,770,306	0	0	0
執行率	95.8%	95.7%	98.9%	0.0%	0.0%	0.0%
<b>(人件費)</b>						
職員数	1.60	1.10	1.10			
職員人件費	12,535,691	8,886,708	8,776,890			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	4,942,434	34,157	50,717			
総コスト	320,538,865	284,880,503	287,597,913	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門相談 (ガイダンス) 1回開催、1人参加</li> <li>■ 専門相談 (NPO・SB/CB個別相談) 53回開催、53人参加</li> <li>■ 市民活動入門・専門講座 29回開催、252人参加</li> <li>■ 市民協働まつり 来場者6,269人、127団体参加</li> <li>■ 多様な主体間 (市民活動団体・地縁団体・企業・学校・行政等) の交流会 2回開催、21人参加</li> </ul>	<p>▽若年層向けの事業を実施し、若年層の社会貢献活動・市との協働を支援した。</p> <p>▽個人の興味関心を入口として、社会貢献活動にかかわるきっかけを提供した。</p> <p>▽運営協議会の開催方法を見直し、有識者や利用者の多様な意見を得た。</p> <p>▽市民活動団体と協働して市民参加を促すため、団体による交流事業を実施した。</p> <p>▽養成した市民ライター、保育サポーター、オンラインサポーターの活躍の場を提供し、市民活動を支援した。</p> <p>▽協働まつりでのポイントラリーにより、広く市民にSDGsの考え方を身近に感じる機会を提供した。</p>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門相談 (ガイダンス) 1回開催</li> <li>■ 専門相談 (NPO・SB/CB個別相談) 50回開催</li> <li>■ 市民活動入門・専門講座 20回開催</li> <li>■ 市民協働まつり開催</li> <li>■ 多様な主体間 (市民活動団体・地縁団体・企業・学校・行政等) の交流会 3回開催</li> </ul>	<p>▽青少年間の交流促進、及び市民活動・ソーシャルビジネス、SGDsを学ぶ場の提供</p> <p>▽起業家間の交流促進。ビジネスプランコンテストの開催に向けた検討・準備</p> <p>▽市民活動団体及び市民の活躍機会の創出と場の運営を協働して実施する</p> <p>▽多様な市民や団体、企業、教育機関、自治会、行政等をコーディネートし協働を推進する</p> <p>▽中間支援組織との情報共有、連携の推進</p>

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門相談 (ガイダンス) 1回開催、15人参加</li> <li>■ 専門相談 (NPO・SB/CB個別相談) 43件</li> <li>■ 市民活動入門・専門講座 延べ15回開催、221人参加</li> <li>■ 市民協働まつり 来場者9,006人 109団体参加</li> <li>■ 多様な主体間 (市民活動団体・地縁団体・企業・学校・行政等) の交流会 4回開催、31人参加</li> </ul>	<p>▽ソーシャルビジネスラボの利用者をはじめ社会課題解決に取り組む多様な団体からの専門相談では、内容に応じた適切なアドバイザーとマッチングできるよう相談体制を構築した。</p> <p>▽市民活動入門講座受講をとおし、活動をはじめたり関心を持つ団体活動のきっかけを提供した。</p> <p>▽市民活動専門講座では、団体活動のあり方を考える講座や、写真やチラシ、動画、広報など団体の基盤強化となる講座を提供した。</p> <p>▽新型コロナウイルス感染症対策に伴う制限の撤廃後、多様なステークホルダー間の交流の場となるよう、協働まつりや交流事業を通じて多くの市民や団体、企業、行政を巻き込んだ企画を実施した。</p>	



A 重点化・拡大  B 現状のまま継続  C 見直し  D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門相談 (ガイダンス) 1回開催</li> <li>■ 専門相談 (NPO・SB/CB個別相談) 50件</li> <li>■ 市民活動入門・専門講座 延べ20回開催</li> <li>■ 市民協働まつり開催</li> <li>■ 多様な主体間 (市民活動団体・地縁団体・企業・学校・行政等) の交流会 3回開催</li> </ul>	<p>▽協働推進コーディネーター育成講座 (「つなぎすと府中養成講座」) の修了生が、プラッツ内外の事業へコーディネーターとして参画できるよう実践的なマッチングを進めていく。</p> <p>▽ソーシャルビジネス事業者間の情報共有や、具体的な連携を目指した交流会を事業者主体で開催する。</p> <p>▽市民の多様な関心に対応するテーマや、団体の最新のニーズに沿った講座を検討しながら提供する。</p> <p>▽新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用団体数や来館者数に近づける事を目指して、デジタルやアナログ媒体を駆使した広報の強化や、館外のイベント出店等アウトリーチ活動に注力する。</p>

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性												
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">B</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table> <p>C 見直して継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 見直し・縮小</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">1</td> </tr> <tr> <td>2 他事業との整理・統合</td> </tr> <tr> <td>3 完了</td> </tr> </table> <p>D 休止・廃止等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 休止</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">1</td> </tr> <tr> <td>2 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 完了</td> </tr> </table>	1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B	2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1 見直し・縮小	1	2 他事業との整理・統合	3 完了	1 休止	1	2 廃止	3 完了	<p>市民活動センターの指定管理者が有する中間支援に係るノウハウを活用した施策の展開を継続する。</p>
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B												
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)													
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)													
1 見直し・縮小	1												
2 他事業との整理・統合													
3 完了													
1 休止	1												
2 廃止													
3 完了													

## 6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	50	0025910	利用料金還付金補償料	0	8,400	
2	01	10	05	50	0097260	市民活動センター管理運営費 管理運営業務委託料 (債務負担行為解消分)	193,152,000	190,930,824	193,152,000
3	01	10	05	50	0097280	負担金 ル・シーニュ管理組合	83,874,000	83,873,832	83,874,000
4	01	10	05	50	0097420	市民活動センター管理運営費 諸経費	4,620,000	3,957,250	1,330,000
5	01	10	05	50	0097490	市民活動センター整備事業費 給水設備改修工事費			5,600,000
6	01	10	05	50	0097495	市民活動センター整備事業費 換気設備改修工事費			5,700,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							281,646,000	278,770,306	289,656,000